



白鳳点描

▲▽新学期のスタートにあたって▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽

9月1日から新学期が始まり、教室に子どもたちが帰ってきました。教室には、これまでどおりに子どもたちの笑顔があり、ほっとしました。

1学期の終業式で、夏休み中に「自慢できること」ができるといいねと子どもたちに話しました。子どもたちが自慢するのは、自分が頑張ったことやうれしかったことなど、夏休みだからこそできたことではないかと思い、言い換えて伝えました。始業式では、「頑張ったことがあったかな」と問いかけ、夏休みを振り返ってもらいました。

また、新型コロナウイルスの変異（デルタ）株が急拡大し、愛知県にも緊急事態宣言が発令されました。夏休みの終盤にこのような状況になってしまったことで、2学期のスタートにあたり、大変心配をしていました。

始業式では、子どもたちに、「今、広がっているデルタ株は、病気をうつす力が強く、子どもにもうつりやすい」「これまではあまりかからなかった、みなさんより小さい子がコロナになっている」「これまでよりもっと気をつけましょう」と話し、基本的な感染症対策をしっかりと行っていくように伝えました。

学校では、感染症対策を講じながら教育活動を進めていきます。しかしながら、対策を講じても感染リスクの高い活動は行わず、中止や延期をいたします。

御家庭におかれましても気をつけていただき、新型コロナウイルスへの対応について今一度、お子様と一緒に確認していただければと思います。

現在、感染経路不明の事例も多く、誰がいつ感染するかはわかりません。明日は我が身ととらえて、感染症対策をしていきましょう。感染したときの不安や苦しきはたいへんなものだと思います。ウイルスに打ち勝てるように、一人一人が気をつけて。

校長 川本 幸則



※ 裏面：愛知県知事からのメッセージ

「校名と校章のいわれ」

白鳳というのは、このあたりの地名からとったもので、また白鳳という字が持っている雰囲気や伝統を感じさせ、おくゆかしさをもっているためその名がつけられた。白い大きな翼を黒地の中に浮かしたせ、大空を力強く飛んでいく「おとり」の様子を表したものです。また、みんなが、仲良くしていここという意味も含めて、全体の形を円にして、その中に白鳳の字を配した。広く一般公募し、昭和47年4月に制定した。

（「創立10周年記念誌」より）